

## 施策評価調書(3年度実績)

施策コード	I-9-(1)
-------	---------

政策体系	施策名	移住・定住のための環境整備とUIJターンの促進	所管部局名	企画振興部	
	政策名	移住・定住の促進	関係部局名	企画振興部、商工観光労働部、農林水産部	
長期総合計画頁 <span style="margin-left: 20px;">73</span>					

### 【 I . 主な取り組み 】

取組No.	①	②	③
取組項目	UIJターンのための きめ細かな情報発信や必要な支援の充実	移住・定住の受け皿となる仕事づくり	移住後の定住に向けた対策

### 【 II . 目標指標 】

指 標	関連する 取組No.	基準値		3年度			6年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125
i 移住促進策による移住者数(人)	①②③	H30	1,534	2,100	1,821	86.7%	2,700					

### 【 III . 指標による評価 】

評価	理由等	平均評価
i 達成 不十分	移住希望者の仕事の確保を支援するITスキルアップ支援が好調であり、移住促進策による移住者数は過去最高の1,821人となった。一方で、新型コロナウイルス感染拡大により、イベントにおける参加人数制限などの制約があり、十分な量の情報発信を行う事ができず、目標が達成できなかった。	達成 不十分

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・移住イベントを通じて、移住希望者の会員組織「おおいた暮らし倶楽部」の加入促進に取り組んだ結果、会員数は前年度比で+235人(19%)の増となった。
②	・IT分野のスキル習得から移住・就職までのワンストップ支援により、48人の移住につなげることができた。 ・本県の強みである産業集積の厚みや市町村との連携による迅速なワンストップサービスを活かした誘致に積極的に取り組んだことにより、68件の企業立地があり、920人の新規雇用と566億円の設備投資に結びついた。 ・農業分野では、金融機関との連携強化や参入用の農地集積を積極的に進めた結果、R3年度に21社の企業参入があり、181人の新たな雇用が見込まれている。
③	・地域おこし協力隊員同士の地域別・業種別交流会や就職・起業に向けた研修会、隊員OB/OGによる個別相談対応により任期後の県内定着率が3.8ポイント向上した。 ・移住者交流会を7回開催し、移住者が抱える問題の把握と移住者同士のネットワークづくりを支援した。

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(3年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①② ③	ふるさと大分UIJターン推進事業	86.5	152
	スキルアップ移住推進事業	96.0	152
①	UIJターン就職等支援加速化事業	86.7	259
	県外若年者UIJターン推進事業	80.2	260
②	企業等農業参入推進事業	105.0	184
	企業立地促進事業	151.1	227

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

○第4回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R3.8)  
 ・県内で村八分に関する訴訟があったことは、大変ショッキング。村の中に入っていくのが非常に難しいと感じている。  
 ・空き家バンクが創設されているが実態は全く有効活用できていない。家屋の利活用がうまくいけば、積極的に人を呼んで来られると思う。

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者が地域で安心して暮らせる環境づくりのため、地域の決まり事の見える化や移住者と地域住民の交流会等の活動を行う移住支援団体の立ち上げに取り組む。</li> <li>・移住希望者の空き家購入を支援するため、空き家バンクに掲載されていない物件について、個別ニーズに対応した物件探索や所有者の紹介、専門的なアドバイスを行うマッチングチームを配置する。</li> <li>・人材が不足している保育士・介護職・看護職への県外からの就職による移住を促進するため、情報発信や就職支援等を行うアドバイザーを配置するとともに、資格取得に向けた支援を行う。</li> <li>・都市圏に在住する女性の移住を促進するため、ゲストハウスを拠点とした地域住民との交流の場の創出に取り組む。</li> </ul>